第 24 回

上富良野町農業委員会総会議事録

令和 4 年 6 月 1 3 日

上富良野町農業委員会

第 24 回 上富良野町農業委員会総会 議事録

1 日 時 令和4年6月13日（月） 午後1時30分から午後3時15分

2 場 所 JA ぶらの北エリア上富良野事務所 2階 役員会議室

3 出席委員 13名

席順	委員名	席順	委員名	席順	委員名
1	前田 満	2	對馬 徹	3	上田 修一
4	荒 仁	5	沼沢 春美	6	西木 晴彦
7	小川 光洋	8	島田 政志	9	谷本 嘉彦
10	北村 啓一	11	内田 透	12	佐藤 良二
13	井村 昭次				

4 欠席委員

--	--	--	--	--	--

5 遅参委員 なし

6 議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の決定
- 日程第2 議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について
- 日程第3 議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請について
- 日程第4 議案第3号 土地の現況証明書下付について
- 日程第5 議案第4号 農業委員会の最適化活動の目標及びその達成に向けた評価・点検並びに活動計画について
- 日程第6 議案第5号 令和3年上富良野町農地貸貸借料情報の公開について
- 日程第7 議案第6号 農地法第3条第2項第5号に定める農地の設定について
(下限面積の設定)

7 農業委員会事務局職員

事務局長	大谷 隆樹	次長	吉澤 大輔	主事	瀬川 翔太
------	-------	----	-------	----	-------

8 会議の概要
開会（午後1時30分） （着席）

開会の宣言

事務局長 全員ご起立ください。「礼」ご着席ください。
只今より、第24回上富良野町農業委員会総会を開会いたします。

議長 これより、会議を進めます。ただいまの出席委員は、13名であります。
定数に達しておりますので、これより第24回上富良野町農業委員会総会を開会いたします。
直ちに、本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配布したとおりでございます。
日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。事務局長。

事務局長 諸般の報告（別紙）

議長 以上をもって諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名委員の決定は、会議規則第13条第2項により議長において、
10番 北村 啓一 君 11番 内田 透 君 を指名いたします。

議 長 日程第2 議案第1号 「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」の件を議題といたします。
議案第1号を、事務局が説明いたします。事務局。

事務局 議案第1号について、ご説明いたします。
農地法第3条第1項の規定による許可申請のあった次の件について、同条第2項の規定に基づき許可の可否について審議を求めます。
令和4年6月13日提出 上富良野町農業委員会 会長 井村昭次

許可申請は、農地法第3条第2項各号の規定に該当しないため、許可の要件を満たしていると判断されます。

審議の資料として、農地法第3条調書をご覧ください。

1番

出し手、〇〇〇〇の〇〇〇〇さん、受け手、〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇、計1筆。地目は公簿現況ともに畑、面積は1筆合計で19,757㎡です。内容は使用貸借となりました。

2番

出し手、〇〇〇〇の〇〇〇〇さん、受け手、〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇ほか、計4筆。地目は公簿山林及び畑、現況は畑。面積は4筆合計で96,281㎡です。内容は使用貸借となりました。

3番

出し手、〇〇〇〇の〇〇〇〇さん、受け手、〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇ほか、計3筆。地目は公簿山林及び畑、現況は畑。面積は3筆合計で36,707㎡です。内容は貸貸借となりました。

4番

出し手、〇〇〇〇の〇〇〇〇さん、受け手、〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇ほか、計3筆。地目は公簿現況ともに田および畑。面積は3筆合計で5,402㎡です。内容は貸貸借となりました。

議 長 これをもって提案理由の説明を終わります。
議案第1号1番、2番、3番 について、提案に関する補足説明を願います。
「2番 對馬 徹 委員」

對馬委員 2番 對馬です。 議案第1号1番、2番、3番 について、補足説明いたします。

1番

出し手 〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。

受け手 〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。

所在地は、〇〇地区、〇〇道路の〇〇側、〇〇〇〇沿いとなります。

〇〇さんと〇〇会社〇〇〇〇さんとの使用貸借となりました。

2番

出し手 〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。

受け手 〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。

所在地は、〇〇地区、〇〇〇〇沿いとなります。
〇〇さんと〇〇会社〇〇〇〇さんとの使用貸借となりました。

3番

出し手 〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。
受け手 〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。
所在地は、〇〇地区、〇〇〇〇沿いとなります。
〇〇さんと〇〇会社〇〇〇〇さんとの賃貸借となりました。

慎重審議をよろしくお願いします。

議長 これをもって提案に関する補足説明を終わります。

議案第1号1番、2番、3番 について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり
なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第1号1番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

つづいて、議案第1号2番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

つづいて、議案第1号3番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議長 議案第1号4番 について、提案に関する補足説明を願います。
「10番 北村 啓一 委員」

北村委員 10番 北村です。 議案第1号4番 について、補足説明いたします。

4番

出し手 〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。
受け手 〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。
所在地は、〇〇地区、〇〇〇〇沿いとなります。
〇〇さんと〇〇さんとの賃貸借となりました。

慎重審議をよろしくお願いします。

議長 これをもって提案に関する補足説明を終わります。

議案第1号4番 について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第1号4番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議 長 日程第3 議案第2号 「農地法第4条の規定による許可申請について」の件を議題
といたします。
議案第2号を、事務局が説明いたします。事務局。

事務局 議案第2号について、ご説明いたします。
農地法第4条の規定による農地の転用申請のあった、次の件について審議を求めます。
令和4年6月13日提出 上富良野町農業委員会 会長 井村昭次

許可申請は、酪農施設建設の転用及び観光農業のための住宅等施設建設の転用であります。
審議の資料として、農地法第4条調書をご覧ください。

1番

土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇の内、地目は公簿現況とも畑、面積は1筆で
7, 820㎡。土地所有者は〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。転用区分は農用地
で、計画内容は育成牛舎、堆肥舎、通路兼作業スペースの建設。転用理由は酪農施設
の建設で、工期は許可日から令和4年12月31日までです。

2番

土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇の内ほか1筆、計2筆。地目は公簿現況とも
田、面積は2筆で5, 522㎡。土地所有者は〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん。転
用区分は農用地で、計画内容は乾燥資料倉庫、通路兼作業スペース。転用理由は酪農
施設の建設で、工期は許可日から令和4年12月31日までです。

3番

土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇の内。地目は公簿現況とも畑、面積は1, 6
47㎡。土地所有者は〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。転用区分は農用地で、計画内容は農
家住宅、ヤギ小屋、車庫、法面、通路兼作業スペース。転用理由は農家住宅などの建
設で、工期は許可日から令和5年12月31日までです。

議 長 これをもって提案理由の説明を終わります。
議案第2号1番 について、提案に関する補足説明を願います。
「8番 島田 政志 委員」

島田委員 8番 島田です。 議案第2号1番 について、補足説明いたします。

土地所有者と転用者は 〇〇〇〇の〇〇会社〇〇〇〇さん
所在地は、〇〇地区の〇〇〇〇沿いとなります。

酪農施設の育成牛舎・堆肥舎及び通路兼作業スペース等の建設のための転用であり、
事業計画に問題はないと考えます。

慎重審議をよろしく願います。

議 長 これをもって提案に関する補足説明を終わります。

議案第2号1番 について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第2号1番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議 長 議案第2号2番 について、提案に関する補足説明を願います。
「7番 小川 光洋 委員」

小川委員 7番 小川です。 議案第2号2番 について、補足説明いたします。

土地所有者と転用者は ○○○○の○○会社○○○○さん
所在地は、○○地区の○○沿いとなります。

酪農施設の乾燥飼料倉庫及び通路兼作業スペース等の建設のための転用であり、事業計画に問題はないと考えます。

慎重審議をよろしくお願いします。

議 長 これをもって提案に関する補足説明を終わります。

議案第2号2番 について、これより質疑に入ります。

對馬委員 田んぼからの転用ですね。昔の記憶が正しければ、田んぼの耕作期間は転用ができないという話があったかと。

事務局 公簿地目田ですが現在は転作をして牧草畑として利用しています。特に田んぼだからといって転用ができないということはありません。

對馬委員 昔、6～10月の期間はだめだと言われたけれど、今はないんですね。

事務局 はい。

對馬委員 春の田んぼの作付け量が申請の数字と変わるとまずいから、秋の収穫までは転用ができませんという期間が昔はあったような気がする。

事務局 この箇所については水稻を作付けしていないので、米の面積には影響しない。水田の交付金対象かどうかこの場ではわかりませんが、仮に対象でも交付面積は減る、それは理解の上でしょうし、すでに一般畑に転換しているかもしれません。

對馬委員 わかりました。

他にありますか。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第2号2番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議 長 議案第2号3番 について、提案に関する補足説明を願います。
「12番 佐藤 良二 委員」

佐藤代理 12番 佐藤です。 議案第2号3番 について、補足説明いたします。

土地所有者と転用者は〇〇〇〇の〇〇〇〇さん
所在地は、〇〇地区の〇〇道路付近となります。

申請人は、現在、〇〇〇〇に居住していますが、観光農業を実施し、上富良野町への定住の準備として、住宅・車庫・山羊小屋・通路兼作業スペース等の建設のための転用であり、事業計画に問題はないと考えます。

慎重審議をよろしくお願いします。

議 長 これをもって提案に関する補足説明を終わります。

議案第2号3番 について、これより質疑に入ります。

島田委員 この箇所、何年か前に草が生えていた土地の近くですね。その時に手入れの問題がいろいろ議論されていたと思いますがその点についてはいかがなんでしょうか。

事務局 確かにこの土地については所有者の〇〇さんの管理が調べてなく、牧草は蒔いてありましたが、その後定期的に収穫されていたかは不明で、皆様にも現地を確認していただいた土地です。この度、〇〇さんが移住してくるに先立ち、住宅やヤギ小屋と機械倉庫を建てて、周辺には〇〇〇〇等を計画しているとのこと。〇〇〇〇など。移住するにあたって先に住宅やヤギ小屋、機械の倉庫等を建設し、農地の管理については今後適切に管理していきたい旨本人から聞いております。

島田委員 認定農業者でしたか？

事務局 認定は受けてなかったと思われ。ます。

島田委員 そのあたりに問題はないんですか。

事務局 ありません。農業者が認定でも認定でなかろうと転用に影響はありません。

谷本委員 牧草を蒔いているそうだが、去年は管理しているのか。刈取りはしているのか。一度注意をしているはずだが。

事務局 そのままです。

谷本委員 その管理をしてくれないと許可なんて出せない。一度注意をしていて、本人が草刈りができないから周囲の人に頼んだが誰も受けてくれなかった。〇〇〇〇を作ると最初言っていたが、できないから牧草を蒔いたという流れだった。その後何も管理していないんじゃないか、管理してもらってからじゃないと許可は出せないんじゃないか。

井村会長 事業計画の変更になるのか。建物を建てたいという話はなかったように思う。

谷本委員 カーブのところの原野のようなところに何か建てたいという話はあったと思う。農業委員としては、注意もしているんだから、やるべきことをしてもらってから許可を出す、とした方がいいのではないか。草刈っていたか。

佐藤代理 刈ってないです。

谷本委員 そういう状態で許可出すのはどうかと思う。

井村会長 事業変更で今回の出てきたのか。

事務局 過去の取得時は〇〇〇〇を植えるという目的での取得だったはず。今回は、本格的に上富良野に移住する、ということで住宅の建設をしたいとのこと。前はあくまで農地の取得のみで、転用の話は今回が初めて。そしてその農地を荒らしてたから、適正な管理を行うように、という通知は出しています。

井村会長 それがあったから転用が出てきたのか。

事務局 それもきっかけにあるかもしれませんが。荒らしておくわけにはいかないということで、観光農園みたいなことをやるにあたって先に住宅を建てたいことらしいです。

谷本委員 この人〇〇にも土地あったよね。

上田委員 〇〇と〇〇の境界くらいにある。

谷本委員 本当に住む住宅なのか。

對馬委員 転用の期間は申請日から年末までというのが通常だと思うが、この件は令和5年の12月31日までと長い。工期はどのくらいの長さで設定できるのか。年末くらいまでなら記憶に残るが、さらに一年となると目が行き届かなくなるのでは。注意受けるべき立場にある人間が、長期の転用期間を持つと危険ではないか。

事務局 〇〇なので、〇〇〇〇ため、土地の造成に時間がかかると思う。削って、進入路作ってという造成作業が一番最初になる。

事務局 土地造成の面積が広いこともあり、長めの工期となっています。

事務局 高いところがあるので、だいたい削らないといけない。上の土地を平らにする造成、進入路つけるためには相当切土しないと入っていけないのではないか。しかし、その工期的に1年と半年もかかるのかなと。

前田委員 元々の住宅はどうなった。

事務局 まだ下にあります。

前田委員 そこに家建てられないのか。

對馬委員 行けないこともないだろうが。

前田委員 条件が悪いのかなど。

沼沢委員 下の道路に通り抜けることはできる。

事務局 本人からの農地の利用計画内の、家を建てるスケジュールは7～8月に土地の造成、2023年12月に自宅竣工とのこと。

上田委員 申請には本人が来たのか。

事務局 本人何度か相談に来ていますが、申請は行政書士さん経由です。

谷本委員 事務局は本人に会っているということか。

事務局 はい。今回の際もそうですし、以前の農地利用の話の際も。

谷本委員 草を刈って手入れしなさいという話はしたと思うが、本人はなんと答えたか。

事務局 農地の利用計画の提出を受けています。

事務局 2022年7～8月土地の造成、2023年12月31日に竣工。
2024年中に上富良野町に移住、2025年4月以降農業計画開始。土壤改良を行いながら、2026年3～5月に〇〇〇〇を、〇〇〇〇〇〇〇〇。2026年7月に農地整備、8月に牧草を蒔く。2027年に〇〇〇〇〇〇〇〇。2027年6月以降に開墾をしていきたいとのこと。

井村会長 住宅の建設が最初で、そのあとに〇〇〇〇など植えるという話だが、住宅建て終わったあとに転売する可能性もある。

前田委員 新規就農者になるということなのか。

事務局 本来は農地取得時点で就農となるため、平成29年の取得時に新規就農者として見る。

谷本委員 〇〇さんが最初に話を持ってきたのではなかったか。

佐藤代理 〇〇新規就農者で入ったときは〇〇さん本人の申請です。

谷本委員 これは3条で取得したはずだが、何で取得したにせよ農地だから。この人は農地持てるような段階じゃないんでしょ。

事務局 過去の取得の段階で認めているのですでに農業者。しかし、荒らしているから注意をしたという経過。

上田委員 〇〇さんが農業の経験があるから取得できた、という覚えはある。

谷本委員 〇〇〇〇やると聞いていたのに牧草やってるから。

北村委員　　そもそも農業者じゃないと農地買えないだろう。

谷本委員　　〇〇さんがやってたとかでだろう。

前田委員　　3条で認めているのは事実だろう。
管理のいい悪いで許可しないというのは理由にはならない。

對馬委員　　事業費とかは明確に出ているのか。

事務局　　出ています。
住宅の部分については〇〇〇〇万円、車庫は〇〇〇〇万円、ヤギ小屋〇〇〇〇万円
土木工事に〇〇〇〇万合わせて〇〇〇〇万円という計画になっています。

對馬委員　　残高証明は取っているのか。

事務局　　取っています。

事務局　　住宅に〇〇〇〇万円。

前田委員　　向こうの感覚だろう。

谷本委員　　駐車場かなにかをたくさん取るんじゃないか。

前田委員　　今の時代には当たり前なのかもしれないが、一般住宅なのか。

谷本委員　　住宅は何㎡？

事務局　　300㎡です。

内田委員　　少なくとも過去5年間は営農の事実がない、というのは理由にはならないのか。そこ
までは言えないのか。

事務局　　それはないです。

谷本委員　　管理しなさいよと、手入れしてないんだから。農業委員会として注意してるんだか
ら。

前田委員　　計画が変更になっているのは間違いない。

事務局　　当初に〇〇〇〇をやると言って農地取得しているのに、ちゃんと植えてないでしょ、
荒らしているねと注意した。経過としては。

井村会長　　計画変更だろう。住宅が増えて。

佐藤代理　　最初、〇〇〇〇って話で、〇〇〇〇を調達するのに3年かかるということで、伸ばし
伸ばしとなっていたはず。

事務局　　そうです。最初は〇〇〇〇を植える予定での土地取得だったが、なんらかの理由で手
に入らなかった。当初は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
だったようだが最初で躓いてしまっている。

前田委員　　ほかのところにも土地ある様子だったが、農地はこの〇〇だけなのか。

- 事務局 そうです。
- 前田委員 営農もここでやるということか。
- 事務局 そうです。
- 谷本委員 今日結論出なかったら一月保留にするとか。皆さん考えてきてもらって。
- 事務局 伸ばすというのは明確な理由がないと。申請人も急いでいるので、そういった理由では保留にできません。
- 谷本委員 何年も前から手入れもなにもしていないので、と。
- 事務局 それを理由に許可出せないということではできません。法律的に。
- 島田委員 牧草作っているのであれば第1回の収穫時期ですよ。少なくとも第1回の牧草の収穫をやってくださいよとか。
- 井村会長 言えるけれど、それを条件に許可出さないとはできない。
- 島田委員 農産物収穫しないと農家じゃないでしょう。
- 井村会長 ほかにそのような事例がない。農業やっている人が荒らしているから許可出さない、という案件はない。立場はほかの人と変わらないので、この人にだけ農作業をすることを条件に許可出す、なんてことは言えない。
- 島田委員 農作物なんだから、どんなに荒らしていても、草生やそうが収穫はしてもらわないと。農家なんだから種まいたら収穫しないと、草刈り出来なかったよとかは仕方ないかもしれないけれど、収穫はしないと。農家じゃないでしょう。
- 前田委員 もっともな意見ではあると思うが、今回の4条の許可要件じゃなくて、3条の許可出したこと自体が不履行だ、ということならわかる。
- 對馬委員 別の話になる。
- 前田委員 違う話になってしまう。それだから転用はだめだよ、とは理由付けとしては弱いと思う。そうすると逆になぜ3条の許可を出したのかとなる。
- 谷本委員 許可出したときはちゃんとしますと言ったから許可をだした。
- 前田委員 転用の不許可の理由にはならない。転用とは別物。
- 井村会長 出てきたものに許可をするかしないかの判断。
- 前田委員 当時の話は別にして、今回の話だけ。
- 井村会長 牧草をきちんと管理してくださいという話はするけれど、それをしないと許可出しません、というのはできない。
- 前田委員 これを他人に移す、移譲するのはできるのか。
- 事務局 内地番なので買えない。農地の中に農業用施設を建てるだけなので買えない。
- 前田委員 住宅建ててから証明したら地目変えられるだろう。分筆したら買えるだろう。

- 事務局 ここは農業振興地域から外してある。
- 内田委員 中山間とかもかかってない？
- 佐藤代理 かかってません。中山間の事業が入ったときにはここは誰も作ってなかったので入れないようにしているし、多面的機能支払の時も、誰も作ってなくて管理ができないので外しています。
- 島田委員 これだけ大きいところに建てるとなると地目も宅地か雑種地にしてもらわないと。
- 前田委員 そういう権限もないんでしょう。
本人申請がベースなんだろう。
- 前田委員 農業委員会の権能としては許可しかないのはわかるけど。
- 谷本委員 許可するかしないかならできませんと。
- 前田委員 理由があるでしょう。
- 荒委員 この転用は、住宅は建てていい？
ヤギ小屋はわかるけど、住宅はいいのか。
- 佐藤代理 農家住宅であれば。
- 事務局 農業者が農業営むにあたって必要とする居住のための自宅なので。自宅だと嘘言っちゃだめですよ。本当に住まないと。
- 前田委員 観光農園でもいいのか。直売所とか。
- 事務局 はい。農業用施設なので認められます。宿泊施設作ってもいいし、農業体験施設でも、農家民泊作ってもいいし。
この人は自分がそこに移住してくると言って、適正に周りに〇〇〇〇なり植えて、観光農園やりたいという将来計画がある。〇〇〇〇植えようと思ったが進まなかったなどあるが、そこがどのあたりまで信用できるのか。
- 荒委員 こっちの方が高いですよ。
- 北村委員 通路から見ると相当高いよな。
- 沼沢委員 整備しても、平らにしてもだいぶ高いですよ。
- 佐藤代理 〇〇〇〇のところに農道がついていて、それが〇〇と出入りできるので、そこまで下げればそんなに急にはならない。
- 事務局 上富良野に移住してくるということなので。
- 島田委員 当時のことはよくわからないですけど、荒地地というか誰も買わないような土地をこの人が手を挙げて、誰も買わない土地が売れるぞってこともあったんじゃないんですか。
- 井村会長 〇〇さんとの3条なので。
- 事務局 平成28年に買ったようです。

- 荒委員 繰り返しにはなるんですが、初期の計画が完璧で3条を認めたわけですが、それが進行されていないのに転用をやると言われても、島田さんのおっしゃるように心情的には認められないんですが、計画をきちっとやってくれという保留、認められないと言うのではなく保留とするのも不可能なのか。あまりにも計画倒れ、二回目を認めないというのは正当な理由になると思うんですが。
- 事務局 再度調査が必要という理由をつけて保留することはできます。しかし、向こうが急いでるのになぜか、となる。
- 荒委員 例えば、さっき言われていたように管理も収穫もしていない。チェックをして今の時点でしていないというのを計画倒れだと判断をし、却下するのはよくないとしても、やることやるようにお願いし、回答もらうまで1か月保留はだめですか。
- 谷本委員 手入れしてから着工してくださいと言った方がいいさ。
- 荒委員 来月の総会までにきちっとしたことがなければ我々も考える。
- 事務局 造成は7月からで、家は来年の12月です。
- 事務局 今年土地の造成だけ。
- 事務局 切土する関係で国道の許可ないとできないため、転用許可が早めにほしいと聞いている。
- 西木委員 ○○○○は完全に手に入るんですか。また○○○○が手に入らなかったら、確約なかったら。
- 前田委員 もうちょっと詳しく知りたいという理由付けしないと。拒否するために伸ばすわけじゃない。
- 事務局 向こうに、なぜ許可出さないと訴えられる。
- 谷本委員 期間を延ばす理由なら、何もしてなかったんだからさ。
- 事務局 今回の許可申請の要件とは別問題です。事業計画が正確でないとか、実効性が不十分だとかそういった理由なら。
- 島田委員 なら西木さんの、○○○○が、○○○○が確保できてますか、とか。
- 事務局 その辺のしっかりとした根拠が足りないので1か月間保留します、と言ったときにどうなるか。
- 島田委員 ○○○○の購入先とか、確保できるまで、と。
- 事務局 転用の申請自体は書類や条件を満たしていて問題ない。
- 前田委員 計画自体ができるかどうかだぞ。
- 事務局 実行できていないということであれば、農地の管理について別途指導になるかと。
- 前田委員 4条の計画だぞ。
- 事務局 4条の申請に係る計画は問題がない。

前田委員 4条の計画の中に〇〇〇〇を植えるという。

對馬委員 物を建てることで終わる。建てる理由には今後〇〇〇〇を植えるという話があるが、今回は関係ない。

事務局 農家住宅を建てることを認めるか認めないか、です。

對馬委員 残高証明取れている以上、言えない。

事務局 移住するにあたって先に家を建てたい、という話なので。4条許可には問題ない。上富良野に住んでいない人だから、先に家建てて農家営みたいと言われたらなにも問題ない。

谷本委員 この人は新規就農とか、どこかで経験積んでくるとかなにもないんだよね

事務局 過去に買った時点で農家として認めている。

沼沢委員 面積の範囲内で土を動かして平らにするということか。その土をどこかに持っていくということはないのか。

事務局 削った土は搬出するんじゃないでしょうか。

沼沢委員 自分の低い土地のところに持っていくのは。

事務局 それは自由です。自身の土地の傾斜変えるとか造成するのは許可はいらない。〇〇〇〇流れるとかあると〇〇〇〇に怒られるでしょうが。

對馬委員 表土盛るなら転用許可がいるんじゃないか。

事務局 道路に土流れるとかは許されないだろう。

井村会長 この件について、ほかに疑問がある人がいれば。先ほどあったように、申請の内容は問題ない。これを拒否するには相応の理由がある。牧草刈取りをしていない、ということは拒否する理由にはならない。

事務局 今年土地の造成のみ、住宅の完成は来年の12月。
先ほど言ったような、事業計画の再調査のために保留としたとき、開発から許可もらうまでに期間を長く取っているということならなぜ許可を出さないのか、となる。

荒委員 〇〇の例で行くと、あちらは計画が止まってしまった、というものですよね。

事務局 あちらは頓挫して、管理会社が管理している。

荒委員 事業が止まらなければ、許可をしないということにはならない。

事務局 あちらは許可後に潰れたものなので別。毎年、管理会社から転用について事業の進捗について報告を受けている。

前田委員 誓約書取るわけにもいかないだろうしな。

事務局 そうですね、苗が手に入るのかどうかなど皆様の不安はわかります。
農業をやらなかった場合は法に則って勧告を行うなど諸手続きをするほかない。
不許可にする条件も、代替地があるとか、そういうものくらいしか。

- 北村委員 わかりやすい罰則があれば。営業停止とか、いくら以下の罰金とか。
- 事務局 草刈ってください、管理してくださいというのは言える。
- 前田委員 許可出すにあたって、農業委員会の意見書というか、さきほどの耕作放棄地の件だとか、農業委員会からの意見を付けたとして効果はないのか。
- 事務局 効力はないけれど、農地の管理を適切に行うこと、ということと言える。
- 谷本委員 ○○○○の確保をしっかりと、とか。
- 西木委員 地域の土地を○○○○が買ったときに、覚書を交わしたんですね。従業員だから誰が来るのかわからなかったけど。今回は個人だが。しつこいかもしれないけどそういうこと繰り返すと、委員会や地域の声とかが重たくなっていくのかなど。覚書を交わすべきかと思います。
- 井村会長 今の議題に関しまして、いろいろなご意見がありましたが。効力があるものではありませんが、覚書を許可と一緒に出すと。事務局に作成してもらって、次の総会の場で書面でもらえば助かります。
- 議 長 これより、議案第2号3番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議長 日程第4 議案第3号「土地の現況証明書下付について」の件を議題といたします。
議案第3号を、事務局が説明いたします。事務局。

事務局 議案第3号について、ご説明いたします。
北海道農地法関係事務処理要領及び上富良野町農業委員会土地の現況証明事務取扱要領の規定に基づき、次の件について証明書を下付したく審議を求めます。
令和4年6月13日提出 上富良野町農業委員会 会長 井村昭次

審議資料として、現地調査表を添付してございます。

1番

土地の所在は上富良野町〇町〇丁目〇〇〇〇番〇〇。公簿が田、現況は農地採草放牧地以外です。面積は1,388㎡。土地所有者は〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。申請目的は地目変更で、調査委員は北村委員・谷本委員・沼沢委員で、令和4年5月30日に調査を行いました。

2番

土地の所在は上富良野町〇〇〇〇番〇〇。公簿が畑、現況は農地採草放牧地以外です。面積は638㎡。土地所有者は〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。申請目的は地目変更で、調査委員は北村委員・谷本委員・沼沢委員で、令和4年5月30日に調査を行いました。

〇〇の土地については昭和50年頃の河川工事の土上げが原因で農地以外の状態となった。また参考情報として、隣接する〇〇〇〇番〇〇は平成3年に農地以外として判定している。

〇〇〇〇番〇〇は20年前には今と同じ状態で、道路工事の際の土砂を入れ土場にしたことが原因。〇〇の辺は農地と面しているが、高さがあり一帯として利用するのは難しい。

今後土地の整理を行うにあたり、地目の整理を行うべく証明をお願いしたい。

議長 これをもって提案理由の説明を終わります。
議案第3号1番、2番 について、提案に関する補足説明を願います。
「10番 北村 啓一 委員」

北村委員 10番 北村です。 議案第3号1番、2番 について、補足説明いたします。
5月30日に 谷本委員、沼沢委員とともに現地調査を行いました。

1番

所有者は〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。
所在地は〇〇地区、〇〇〇〇沿いになります。
土地の経過については、事務局の説明とおおりです。
公簿上は田であります、農地・採草放牧地以外とすることが適当と思います。

2番

所有者は〇〇〇〇の〇〇〇〇さん。
所在地は〇〇地区、〇〇〇〇沿いになります。
土地の経過については、事務局の説明とおおりです。
公簿上は畑であります、農地・採草放牧地以外とすることが適当と思います。

慎重審議をよろしくお願いします。

議長 これをもって提案に関する補足説明を終わります。

議案第3号1番、2番 について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第3号1番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

つづいて、議案第3号2番 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議 長 日程第5 議案第4号「農業委員会の最適化活動の目標及びその達成に向けた評価・点検並びに活動計画について」の件を議題といたします。

議案第4号を、事務局が説明いたします。事務局。

事務局 事務局より議案第4号について説明。
(別紙様式1、別紙様式2説明)

議 長 これをもって提案理由の説明を終わります。
議案第4号について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第4号 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議 長 日程第6 議案第5号「令和3年上富良野町農地賃貸借料情報の公開について」の件を議題といたします。

議案第5号を、事務局が説明いたします。事務局。

事務局 令和3年1月1日から令和3年12月31日の1年間に締結された賃貸借における農地賃貸借料水準（10aあたり）の公開について審議を求める。

田と畑の二つの区分に分け、田については41筆、平均額が6,600円、最高額が10,000円、最低額が2,500円です。畑については105筆、平均額が2,900円、最高額が5,000円、最低額が1,200円です。

今回の審議で特段問題がなければ、上富良野町農業委員会ホームページにて暦年の数値と一緒に公開することになります。

また、この数値は賃貸借料情報の算出のためのシステムから出力されています。よろしく申し上げます。

議 長 これをもって提案理由の説明を終わります。
議案第5号について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第5号 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議長 日程第7 議案第6号「農地法第3条第2項第5号に定める農地の設定について（下限面積の設定）」の件を議題といたします。

議案第6号を、事務局が説明いたします。事務局。

事務局 農地法第3条第2項第5号に定める下限面積の設定および別段面積の設定について、審議を求める。

令和4年6月13日提出 上富良野町農業委員会 会長 井村昭次

こちら設定地域については町内全域となります。下限面積は2haです。農地法施行規則第17条第1項を適用し、2020農林業センサスにおいて、現行の下限面積未満の農地を耕作している農家が全農家数の4割を著しく上回るものではないため、北海道での下限面積2ヘクタールを適用するものとし、別段の下限面積について定めは行わない。

参考資料として2020農林業センサスを添付しています。上富良野町において246経営体あるのに対し、2.0ha未満の経営体は21経営体で全体の8.5%となっています。

議長 これをもって提案理由の説明を終わります。
議案第6号について、これより質疑に入ります。

「なし」の声あり

なければ、これをもって質疑を終了いたします。

これより、議案第6号 を採決いたします。本件は、原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

「異議なし」の声あり

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

事務局長

本日の日程は、全て終了いたしました。

第24回上富良野町農業委員会総会を閉会いたします。

全員ご起立ください。 「礼」

以上、議案6件の審議を終了し議長が閉会を宣言する。

午後3時15分

上記第24回農業委員会総会の顛末に相違ないことを証するため署名する。

令和4年6月13日

上富良野町農業委員会長 _____

上富良野町農業委員 _____

上富良野町農業委員 _____